

1. 施設の利用状況に関する事項

①利用状況等の総括

今年度は、コロナウイルスの感染拡大対策により、3月は団体受入れ及び貸館業務を中止した。また、3月上旬から「レストラン」が営業を自粛したため、2月末までの数値で前年度と比較を行って総括する。

1 入場者数

一年間（2月末まで）の入場者数は637,715人（前年度比+101,630人：119%）で、前年度を大きく上回った。

施設別では、ガーデンが296,375人（前年度比+78,003人：136%）、レストランが48,311人（前年度比-5,877人：89%）、直売所が293,029人（前年度比+29,504人：111%）であった。特に、ガーデンは日中のガーデン入場者数は266,680人（前年度比+67,570人：134%）で、ガーデンの無料化とともにガーデンに対する周知が図られてきていると考えている。

2 団体利用

2月末段階で363団体（前年度比+61団体：120%）、12,488人（前年度比較+2,225人）の利用があった。地域別では、新潟市内が165団体（全体比46%）で最も多く、次いで新潟県内131団体（全体比36%）、県外67団体（全体比18%）であった。団体種別では、その他（福祉施設・行政関係・自治会・JA等）が234団体（全体比64%）で最も多く、次いで保育・こども園が46団体（全体比13%）、小学校22団体（6%）であった。福祉施設の利用が多かったという印象はあるが、次年度はその他団体の項目を見直し、利用団体の傾向を明らかにしていきたい。

3 食と花のプロモーション

交流イベント・プロモーションイベント・外部団体主催イベントを合わせて15回実施した。大イベントは、8回企画したが、3月予定のイベントがコロナウイルスの感染拡大対策により中止となり、7回の実施であった。

4 関係団体・地域との調整

関係機関とは食と花の推進課との連絡調整会議を2回、地域との連絡調整会議は「とやの物語実行委員会」を6回実施した。今後とも、関係機関と密接に連絡を取り合うとともに、地域との連携についても継続して取り組んでいきたい。

5 広報の充実

2月末までのHP更新回数は、446回（前年度比較+197回）、アクセス件数は415,911件（前年度比較+34,835件）で、前年度の数字を大きく上回った。イルミネーション開催期間中に実施した調査でも、HPは重要な広報手段であることが明らかになった。今後とも、いくとびあ食花の取組を市民に周知するために、HPを充実させていきたい。

6 成果と課題

〈成果〉

◎ イルミネーションの入場者数増

イルミネーションの周知を図るために、市小学校長会に協力をお願いして市内全児童にチラシを配布した。その効果により入場者数が前年度に比べて大きく増加した。

◎ 広報の効果に関する調査

夏のイルミネーション開催時に入場者を対象にして「イルミネーションを何で知ったか」を調査した。その結果、「口コミ」、「チラシ」、「HP」から多くの人が情報を得ていることが明らかになった。今年度実施した調査結果を今後の広報手段に役立てていきたい。

〈課題〉

● 条例で示されている「主な事業」

事業運営においては、新潟市食と花の交流センター条例の具現化が求められる。条例で定められている「主な事業」の内容を明らかにするとともに、事業の具現化に努める。

● 安全で快適な施設運営

今年度は「接地抵抗改修工事」、マーケット・レストランの「GHP室外機修理」・「段差解消工事」等、大きな修理・修繕があった。入場者にとって安全で快適な施設を運営するためにも、安全点検の徹底と早急な修理・修繕に努める。

②入場者数 単位：人

項目	R1年度	H30年度	増減	前年対比
年間入場者数	674,062	597,529	76,533	112.8%

③利用団体 単位：件

項目	R1年度	H30年度	増減	前年対比
利用団体数	363	304	59	119.4%

④「花とみどりの展示館」利用 単位：回

項目	R1年度	H30年度	増減	前年対比
利用許可日数	16	31	-15	51.61%

⑤イベント実施状況

項目	実施日	日数	人数	イベント名
イベント実績	4/13, 14	2	8,676	春いくフェスタ
	5/4, 5	2	10,855	ゴールデンウィークスペシャル
	7/13～15	3	10,926	キラキラフェスタ
	8/3, 4	2	6,183	こどもまつり
	9/21～23	3	8,900	動物ふれあいフェスタ
	10/12, 13	2	3,648	秋の収穫感謝祭
	12/21, 22	2	7,754	クリスマスフェスタ
	3/7, 8	0	0	春花・舞花(コロナウイルス対応のため中止)
合計	16	56,942		

⑥コラボ事業 単位：回

項目	R1年度	H30年度	増減	前年対比
事業数	13	19	-6	68.42%

⑦食と花のプロモーション事業 単位：回

項目	R1年度	H30年度	増減	前年対比
事業数	2	5	-3	40.00%

⑧ホームページ

項目	R1年度		H30年度		増減	
	更新回数	アクセス数	更新回数	アクセス数	更新回数	アクセス数
更新・アクセス数	478	437,556	259	405,597	219	31,959

※ 「いくとぴあ食花」ホームページの更新、アクセス数を記載している。

2. 施設の管理状況に関する事項

①会議

単位：回

項目	R1年度	H30年度	増減	備考
センター長会議	19	0	19	令和元年度より
担当者会議	14	0	14	令和元年度より
いくとびあ食花担当者会議	0	23		いくとびあ食花4施設合同（令和元年度に廃止）
出店者会議	12	1	11	
代表者会議	6	8	-2	

②職員研修

単位：回

項目	R1年度	H30年度	増減	備考
職員研修数	9	2	7	延べ参加人数25人

3. 収支状況

いくとびあ食花全体の収支状況として「令和元年度新潟市食と花の交流センター、新潟市食育・花育センター、新潟市動物ふれあいセンター及び新潟市こども創造センター収支状況報告書（平成31年4月～令和2年3月）」を参照

4. 自主事業

単位：円

項目	R1年度	H30年度	増減	備考
視察料等収入	0	16,000	-16,000	
ドッグラン	488,000	480,000	8,000	
協賛金等	1,229,372	1,250,977	-21,605	
婚礼	0	0	0	
自動販売機	673,188	558,397	114,791	
いくとびあ倶楽部	36,000	90,000	-54,000	
その他収入	0	1,000	-1,000	
自主事業収入実績合計	2,426,560	2,396,374	30,186	

5. その他

①利用者アンケート

単位：件

項目	R1年度	H30年度	増減	備考
アンケート数	158	54	104	
接遇満足度	96.3%	89.0%	7.3%	

②要望・意見

単位：件

項目	R1年度	H30年度	増減	備考
要望・意見数	1	3	-2	

③けが・事故

単位：件

項目	R1年度	H30年度	増減	備考
けが・事故数	1	0	1	ガーデンの日本庭園を撮影中に転倒

④市内産業等への貢献

項目	市内割合			備考
	R1年度	H30年度	増減	
再委託業者	100.0%	100.0%	0.0%	7社中7社
職員	100.0%	100.0%	0.0%	5人中5人

⑤ボランティア

項目	活動人数(述べ)			備考
	R1年度	H30年度	増減	
ボランティア数	400	369	31	

⑥障がい者の業務参加

単位：人

項目	R1年度	H30年度	増減	備考
業務参加数	4	0	4	延べ人数

⑦関係団体・地域との連絡調整会議

単位：回

項目	R1年度	H30年度	増減	備考
会議数	8	1	7	とやの物語実行委員会等

以上

新潟市食育・花育センター 令和元年度 管理運営業務報告書 概要版

新潟市食育・花育センター
センター長 真柄 正幸

今年度は、コロナウィルスの感染拡大対策により、3月は開館したが教室・講座等の活動を中止した。そのため、前年度との比較は、2月末までの数値を用いて総括する。

1. 施設の利用状況に関する事項

①利用状況等の総括

- 1 入館者数
一年間（2月末まで）の入館者数は368,410人（前年度比+395人：99.9%）で、前年度とほぼ同数の入館者であった。また、休日一日利用者平均は1,877人（前年度比107%）、平日一日利用者平均は778人（前年度比91%）であった。
- 2 団体利用
400団体（前年度比94.1%）、14,344人（前年度比較+683人）の利用があった。団体種別では、保育園・こども園が119団体（全体比30.0%）で最も多く、次いで小学校82団体（全体比20.7%）、特別支援学校・適応指導教室25団体（全体比6.3%）であった。活動内容では、自由見学が241団体（全体比60.7%）で最も多く、次いで団体体験プログラム利用が123団体（31.0%）であった。
- 3 食育・花育の推進
食育推進事業は料理教室等で189回（前年度比較+33回）、花育推進事業では、園芸講座等で90回（前年度比較+4回）実施した。今年度は、より多くの人から体験活動をしてほしいと願い、教室・講座等の充実に努めた。
教室や講座の参加者や施設を利用した2,287人から回答をいただいたアンケートでは、接遇満足度は99.8%、施設満足度は99.0%であった。
- 4 広報の充実
2月末までのHP更新回数は、446回（前年度比較+197回）、アクセス件数は415,911件（前年度比較+34,835件）であった。イルミネーション開催期間中に実施した調査では、HPは重要な広報手段であることが明らかになった。
- 5 園芸相談
2月末までの園芸相談件数は5,221件（前年度比+1,339件：193%）であった。特に、来館しての相談が3,084件（前年度比+1,278件：171%）と多かった。相談内容では「野草・草花」が最も多く、次いで「野菜」、「洋蘭・観葉」の順であった。
- 6 成果と課題
〈成果〉
 - ◎ 研修の充実
職員の資質向上を目指し「センターの運営方針」、「人権教育」、「現地研修」等、研修の充実を図った。
 - ◎ 体験活動の充実
より多くの来館者から食育・花育に関する体験をしてほしいと願い、教室・講座等の回数を多くするとともに、「にいがた流食生活」を意識して内容を充実させることができた。〈課題〉
 - 安全で安心して体験できる施設運営
「SATシステム」、「調理室のカメラ」、「外構タイル修繕」、「冷却水ポンプ取替」等々、機器等の不具合が多く発生した一年であった。来館者に対する安全の確保と魅力ある施設運営のために、安全点検の徹底と早急な修理・修繕に努める。
 - 団体体験プログラムの改善及び周知
平日の利用者増を図るために、校・園にとって魅力的な団体体験プログラムの作成が必要である。そこで、プログラム内容の見直しや新規プログラムの開発を行うとともに、校・園に対する啓発に努める。

②入館者数

単位：人

項目	R1年度	H30年度	増減	前年対比
年間入館者数	378,851	395,233	-16,382	95.9%

③利用団体

単位：件

項目	R1年度	H30年度	増減	前年対比
利用団体数	400	449	-49	89.1%

④団体体験プログラム

単位：回

項目	R1年度	H30年度	増減	前年対比
利用プログラム数	123	127	-4	96.9%

⑤イベント実施状況

項目	実施日	日数	人数	イベント名
イベント実績	4/13, 14	2	4,475	春いくフェスタ
	5/4, 5	2	5,248	ゴールデンウィークスペシャル
	7/13~15	3	8,297	キラキラフェスタ
	8/3, 4	2	5,140	こどもまつり
	9/21~23	3	8,334	動物ふれあいフェスタ
	10/12, 13	2	3,332	秋の収穫感謝祭
	12/21, 22	2	5,342	クリスマスフェスタ
	3/7, 8	0	0	春花・舞花(コロナウイルス対応のため中止)
合計	16	40,168		

⑥コラボ事業

単位：回

項目	R1年度	H30年度	増減	前年対比
コラボ事業数	28	9	19	311.1%

⑦食育・花育の推進事業

1) 食育推進事業

項目	R1年度		H30年度		増減	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数
食育推進事業数	189	4,742	156	4,472	33	270

2) 花育推進事業

項目	R1年度		H30年度		増減	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数
花育推進事業数	90	2,203	94	4,125	-4	-1,922

⑧ホームページ

項目	R1年度		H30年度		増減	
	更新回数	アクセス数	更新回数	アクセス数	更新回数	アクセス数
更新・アクセス数	478	437,556	273	405,597	205	31,959

※ 「いくとぴあ食花」ホームページの更新、アクセス数を記載している。

2. 施設の管理状況に関する事項

①会議

単位：回

項目	R1年度	H30年度	増減	備考
センター長会議	19	0	19	令和元年度より開始
リーダー会議	0	1		(令和元年度に廃止)
担当者会議	14	0	14	令和元年度より開始
いくとぴあ食花担当者会議	0	23	-23	いくとぴあ食花4施設合同(令和元年度に廃止)
代表者会議	6	8	-2	
その他会議	2		2	イルミネーション臨時会議、食花・交流合同会議

②職員研修

単位：回

項目	R1年度	H30年度	増減	備考
職員研修数	21	25	-4	延べ参加人数144人

3. 収支状況

いくとぴあ食花全体の収支状況として「令和元年度新潟市食と花の交流センター、新潟市食育・花育センター、新潟市動物ふれあいセンター及び新潟市子ども創造センター収支状況報告書(平成31年4月～令和2年3月)」を参照

4. 自主事業

単位：円

項目	R1年度	H30年度	増減	備考
物販収入	20	0	20	
視察料等収入	14,500	20,500	-6,000	
自動販売機	0	0	0	
その他雑収入	2,150	960	1,190	
自主事業収入実績合計	16,670	21,460	-4,790	

5. その他

①利用者アンケート

単位：件

項目	R1年度	H30年度	増減	備考
アンケート数	2,287	2,150	137	
接遇満足度	99.8%	99.0%	0.8%	3月は回答が0人のため、2月末までの満足度

②要望・意見

単位：件

項目	R1年度	H30年度	増減	備考
要望・意見数	216	228	-12	

③けが・事故

単位：件

項目	R1年度	H30年度	増減	備考
けが・事故数	1	0	1	アトリウムで転倒によるけが

④市内産業等への貢献

項目	市内割合			備考
	R1年度	H30年度	増減	
再委託業者	100.0%	100.0%	0.0%	6社中6社
職員	88.2%	94.4%	-6.2%	17人中15人

⑤ボランティア

項目	活動人数（述べ）			備考
	R1年度	H30年度	増減	
ボランティア数	5	1	4	延べ人数

⑥障がい者の業務参加

単位：人

項目	R1年度	H30年度	増減	備考
業務参加数	12	12	0	延べ人数

以上

1. 施設の利用状況に関する事項

①施設の利用状況

本年度の「市民」に関して、目標を達成することが出来なかったが、5月の入館数が昨年同月と比べ大幅に超える事が出来た。全体を通して、19,458人減少した。3月に新型コロナウイルスの影響による閉館があったことが入館数減少の要因と考える。団体利用に関しても目標を達成することが出来なかった。特に10月の利用件数が例年と比較すると大幅に減少していた。次年度以降の対策として学校へのPR方法の検討や目標数値の見直しを行いたい。体験と学習に関しては目標を達成する事が出来た。9月利用が目標を大きく上回ることが出来た。次年度以降も目標達成出来る様に魅力ある団体イベントをしていきたい。譲渡の推進については前年度より全体的に譲渡数が少なかったが、愛護センターへの受入れ頭数の減少が考えられる。全体的に前年度と同等の高い譲渡率を達成することができた。当センター飼育管理部職員による飼育環境の整備と対象動物の育成もさることながら、保健所との柔軟かつ円滑な連携によって本実績を達成することができたと考える。

【1「市民」に関する主な実績のまとめ】 ※A；好調、B；順調、C；不調

- ① 入館者数：336,996人(目標達成率98.2%)、前年比94.5%(336,996/356,454人)；C
 ② 団体利用：431/590団体(目標達成率73.1%)、前年比88.5%(431/487団体)；C
 ③ 体験と学習：104団体(目標達成率104.0%)、前年比90.4%(104/115)；A
 ④ 交流の拡大：交流イベント実施回数7/8回(目標達成率87.5%)、前年比87.5%(7/8回)；C
 ⑤ 多彩な事業展開：コラボ事業実施回数37/20回(目標達成率185.0%)、前年比336.4%(37/11回)；A
 ⑥ 広報の充実：ホームページのアクセス件数437,556/390,000件(目標達成率112.2%)、前年比107.9%(437,556/405,597件)。ブログの更新回数250/50回(目標達成率500.0%)、前年比105.9%(250/236回)。パブリシティ件数48件、前年比154.8%(48/31件)；A
 ⑦ 利用者の満足度：アンケート回収枚数350枚、前年比133.1%(350/263枚)。アンケート満足度94.0/85.0%(目標達成率110.6%)、前年比101.3%(94.0/92.8%)。苦情0件(前年1件)。事故0件(前年0件)；A
 ⑧ 譲渡の推進：犬40頭、犬譲渡率88.9%、猫256頭、猫譲渡率43.4%。
 ふ犬34頭、前年比89.5%(34/38頭)。ふ成猫12頭、前年比32.4%(12/37頭)。ふ子猫172頭、前年比91.0%(172/189頭)。合計頭数前年比82.6%(218/264頭)。譲渡率97.8%(218/223頭)、前年比101.1%(97.8/96.7%)。猫の講習会・譲渡会への参加者数480人、前年比87.4%(480/549人)；A

②入館者数

単位：人

項目	R1年度	H30年度	増減	前年対比
入場者数合計	336,996	356,454	-19,458	94.54%

③団体利用

単位：件

項目	R1年度	H30年度	増減	前年対比
団体利用合計	431	487	-56	88.50%

④団体体験プログラム

単位：回

項目	R1年度	H30年度	増減	前年対比
団体体験プログラム合計	104	115	-11	90.43%

⑤交流イベント・プログラム実施状況

項目	実施日	日数	人数	イベント名
交流イベント実績	4/13, 14	2	5,748	春いくフェスタ(全館で21,331人)
	5/4, 5	2	7,976	GWスペシャル(全館で28,181人)
	7/13, 15	2	7,829	キラキラフェスタ(全館で32,461人)
	8/3, 4	2	4,462	夏休みこどもまつり(全館で19,591人)
	9/21, 22, 23	3	11,740	動物ふれあいフェスタ(全館で41,010人)
	10/12, 13	2	2,344	秋の収穫感謝祭(全館で11,489人)
	12/21, 22	2	4,962	クリスマスフェスタ(全館で19,941人)
	3/7, 8	2	0	春花・舞花(全館で0人)
合計	17	45,061		

*人数は計測できるもののみ記載

⑥コラボ事業

単位：回

項目	R1年度	H30年度	増減	前年対比
コラボ事業合計	37	11	26	336.36%

⑦「アルパカ・ヒツジ・ヤギ野菜えさやり体験」の参加状況

項目	R1年度		H30年度		増減	
	人数	参加率	人数	参加率	人数	参加率
野菜えさやり体験合計	14,275	49.7%	15,007	47.6%	-732	2.1%

⑧「ポニー乗馬体験」の参加状況

項目	R1年度		H30年度		増減	
	人数	参加率	人数	参加率	人数	参加率
ポニー乗馬体験合計	1,564	52.1%	1,822	59.9%	-258	-7.8%

⑨譲渡推進活動状況

項目	R1年度		H30年度		増減	
	譲渡頭数	譲渡率	譲渡頭数	譲渡率	譲渡頭数	譲渡率
犬	34	97.1%	38	97.4%	-4	-0.3%
成猫	12	75.0%	37	92.5%	-25	-17.5%
子猫	172	100.0%	189	97.4%	-17	2.6%
合計	218	97.8%	264	96.7%	-46	1.1%

⑩猫の講習会・譲渡会への参加者数

項目	R1年度		
	申込組数	参加組数	参加人数
猫の講習会・譲渡会への参加実績	318	265	480
	H30年度		
	申込組数	参加組数	参加人数
	352	303	549
	増減		
	申込組数	参加組数	参加人数
	-34	-38	-69

⑪市内の動物関係団体等との連携事業

単位：回

項目	R1年度	H30年度	増減	前年対比
連携事業合計	6	5	1	120.00%

⑫ホームページ

項目	R1年度		H30年度		増減	
	更新回数	アクセス数	更新回数	アクセス数	更新回数	アクセス数
HP更新、アクセス数合計	250	437,556	236	405,597	14	31,959

※「アクセス数」欄には「いくとぴあ食花」ホームページのアクセス数を記載する。

※「更新回数」欄には動物ふれあいセンターブログ更新回数を記載する。

⑬パブリシティ状況

単位：回

項目	R1年度	H30年度	増減	備考
パブリシティ合計	48	31	17	

2. 施設の管理状況に関する事項

①動物飼育管理状況

単位：頭

項目	R1年度	H30年度	増減	備考
ヤギ	3	3	0	出産4頭
ヒツジ	3	3	0	特記事項なし
アルパカ	4	4	0	導入2頭（入れ替え）
カピバラ	2	2	0	特記事項なし
ウサギ	10	10	0	死亡1頭、導入5頭
モルモット	19	20	-1	死亡3頭、導入2頭

②職員研修等

単位：回

項目	R1年度	H30年度	増減	備考
職員研修等合計	27	12	15	参加人数述べ139名

3. 収支状況

いくとぴあ食花全体の収支状況として「令和元年度新潟市食と花の交流センター、新潟市食育・花育センター、新潟市動物ふれあいセンター及び新潟市こども創造センター収支状況報告書（平成31年4月～令和2年3月）」を参照

4. 自主事業

単位：円

項目	R1年度	H30年度	増減	備考
物販収入	47,900	6,700	41,200	
視察料等収入	0	0	0	
自動販売機	72,768	62,441	10,327	
その他雑収入	0	0	0	
自主事業収入実績合計	120,668	69,141	51,527	

5. その他

①利用者の満足度（アンケート）

単位：件

項目	R1年度	H30年度	増減	備考
アンケート	350	263	87	
利用者満足度	94.0%	92.8%	1.2%	

②クレーム

単位：件

項目	R1年度	H30年度	増減	備考
クレーム合計	0	2	-2	

③けが・事故等

単位：件

項目	R1年度	H30年度	増減	備考
けが・事故等合計	0	0	0	

④市内産業への貢献

項目	市内割合			備考
	R1年度	H30年度	増減	
再委託業者	100.0%	100.0%	0.0%	1社中1社
職員	92.3%	92.9%	-0.6%	13人中12人

⑤ボランティア

単位：人

項目	活動人数			備考
	R1年度	H30年度	増減	
ボランティア合計	169	249	-80	延べ人数

⑥社会貢献

単位：人

項目	R1年度	H30年度	増減	備考
障がい者雇用合計	0	0	0	延べ人数

⑦インターンシップ実習等の受け入れ状況

項目	R1年度		H30年度		増減	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数
インターンシップ 実習等合計	96	320	105	320	-9	0

⑧多目的広場（食と花の交流センター）の利用状況

項目	R1年度		
	多目的広場利用実績	登録頭数	利用頭数
485		8,424	4
H30年度			
登録頭数		利用頭数	ドッグラン以外の利用件数
430		6,430	18
増減			
登録頭数		利用頭数	ドッグラン以外の利用件数
55		1,994	-14

⑨寄付状況

単位：個

項目	R1年度	H30年度	増減	備考
寄付個数合計	2,239	1,281	958	

以上

1. 施設の利用状況に関する事項

①施設の利用状況

少子化や新潟市内の子育て支援施設新設が進むとともに3月一杯新型コロナウイルス感染症対応のために休館となる中で、総入館者数は241,635人となり、こども創造センター設立時の数値目標20万人を上回っている。また、前年度比（3月を除く）は、102%/+4,137人となった。

好調を維持する要因として、こども創造センターが子育て支援施設や体験活動提供施設に留まらず、県内外からのビジターセンター的な機能を果たしていることが考えられる。具体的には次の点が上げられる。

1. キッズデザイン賞も受賞したデザイン性豊かな建物全体が遊び心を誘う色彩や空間構成となっていること。（多くの方がインスタスポットとしても利用）
2. 鳥屋野潟南西部の豊かな自然環境に囲まれた花や生き物とのふれあいも可能な複合施設であること。（親子遠足等の中継・休憩地としても利用）
3. 高速道路インターに隣接しアクセスが良く、広い駐車場があること。（乳幼児連れの方や市外からの方の利用に寄与）
4. 子どもたちの主体性を生かした造形や創造的な遊びの体験活動を、多様かつ有効に提供していること。結果、単なる遊技場ではなく、「生きる力」や「共に生きる力」を育む学びの施設としての周知が進んでいること。
5. 人間本来が持つ集団の学びを生かした団体体験プログラムを提供していること。
6. 多くの人が集いサプライズ的な交流の場が生まれていること。
7. 「子ども、遊び場、新潟」でネット検索すると第1位に紹介されようになったこと。

今後も、上述のような特性を生かし、設置目的の「生きる力」や「共に生きる力」を子どもたちと保護者が笑顔で学べる施設運営を目指したいと考える。ちなみに、他県や市外の利用者からは「私たちの住む街にもこんなセンターがあったら良いのに。」という声をよく頂いている。

②入館者数

単位：人

項目	R1年度	H30年度	増減	前年対比
入場者数合計	241,635	262,538	-20,903	92.04%

③団体利用

単位：件

項目	R1年度	H30年度	増減	前年対比
団体利用合計	395	435	-40	90.80%

④団体体験プログラム

単位：回

項目	R1年度	H30年度	増減	前年対比
団体体験プログラム合計	155	151	4	102.65%

⑤交流イベント・プログラム実施状況

項目	実施日	日数	人数	イベント名
交流イベント実績	4/13, 14	2	2,432	春いくフェスタ(全館で21,331人)
	5/4, 5	2	4,102	春いくフェスタ(全館で28,181人)
	7/13, 14, 15	3	5,251	キラキラフェスタ(全館で32,303人)
	8/3, 4	2	3,806	夏休みこどもまつり(全館で19,591人)
	9/21, 22, 23	3	6,651	動物ふれあいフェスタ(全館で41,010人)
	10/12, 13	2	2,165	秋の収穫感謝祭(全館で11,489人/台風の影響あり)
	12/21, 22	2	3,672	クリスマスフェスタ(全館で21,245人)
	3/7, 8	2	0	春花・舞花(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止)
合計	18	28,079		

⑥コラボ事業

単位：回

項目	R1年度	H30年度	増減	前年対比
コラボ事業合計	218	180	38	121.11%

*平成30年度よりいくとぴあ食花外部との連携事業をコラボ事業に含むこととした。

⑦創作体験活動

1) センター運営事業

項目	R1年度		H30年度		増減	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数
センター運営事業合計	2,253	63,494	2,442	58,549	-189	4,945

2) 関連団体・個人との連携事業

項目	R1年度		H30年度		増減	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数
関連団体等との連携事業合計	190	8,788	166	8,020	24	768

3) 教育機関との連携事業

項目	R1年度		H30年度		増減	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数
教育機関との連携事業合計	13	309	6	64	7	245

⑧展示等

単位：回

項目	R1年度	H30年度	増減	備考
施設内展示合計	52	69	-17	

⑨ホームページ

項目	R1年度		H30年度		増減	
	更新回数	アクセス数	更新回数	アクセス数	更新回数	アクセス数
HP更新、アクセス数合計	411	437,556	236	405,597	175	31,959

※「アクセス数」欄には「いくとぴあ食花」ホームページのアクセス数を記載する。

2. 施設の管理状況に関する事項

①会議等

単位：回

項目	R1年度	H30年度	増減	備考
全体会議	0	0	0	
リーダー会議	0	2	-2	
センター長会議	19	0	19	平成31・令和元年度より担当者会議より分離
いくとびあ食花担当者会議	14	31	-17	企画広報中心会議
その他	19	8	11	

②職員研修等

単位：回

項目	R1年度	H30年度	増減	備考
職員研修等合計	61	39	22	参加人数述べ341人(0JTや紙上研修・面談研修含)

3. 収支状況

いくとびあ食花全体の収支状況として「令和元年度新潟市食と花の交流センター、新潟市食育・花育センター、新潟市動物ふれあいセンター及び新潟市こども創造センター収支状況報告書（平成31年4月～令和2年3月）」を参照

4. 自主事業

単位：円

項目	R1年度	H30年度	増減	備考
物販収入	2,710	2,270	440	
視察料等収入	41,000	20,500	20,500	
自動販売機	1,049,131	895,449	153,682	
その他雑収入	0	0	0	
自主事業収入実績合計	1,092,841	918,219	174,622	

5. その他

①利用者の満足度（アンケート）

単位：件

項目	R1年度	H30年度	増減	備考
アンケート	237	164	73	
利用者満足度	99.0%	97.0%	2.0%	

②ご要望/ご意見

単位：件

項目	R1年度	H30年度	増減	備考
ご要望/ご意見合計	53	88	-35	

③けが・事故等

単位：件

項目	R1年度	H30年度	増減	備考
けが・事故等合計	29	16	13	

④市内産業への貢献

項目	市内割合			備考
	R1年度	H30年度	増減	
再委託業者	66.7%	66.7%	0.0%	遊具保守点検、舞台機器保守点検については、専門的技術を要する為市外業者へ委託
職員	100.0%	95.0%	5.0%	19人中19人

⑤ボランティア

登録者数：11名

単位：人

項目	活動人数（述べ）			備考
	R1年度	H30年度	増減	
ボランティア合計	192	151	41	延べ人数

⑥社会貢献

単位：人

項目	R1年度	H30年度	増減	備考
障がい者雇用合計	33	24	9	延べ人数

⑦支援者研修会

単位：回

項目	R1年度	H30年度	増減	備考
支援者研修会合計	143	10	133	サポーター・ボランティアの方との検討会含む

以上